



ラグビー教室で、被災地の子どもたちに元気を
(株) 神戸製鋼所

（HP 寄稿通算回数）

当社のラグビーチーム・神戸製鋼コベルコスティーラーズは、東日本大震災被災地に日本赤十字社を通じた義援金の寄付や、選手・スタッフによる現地での復興支援を行ってきました。今年3月には、宮城県の新聞社・河北新報社主催の被災地支援活動「今できるプロジェクト」に参加し、現役トップリーガーが講師を務めたラグビー教室を開催しました。このラグビー教室は、復興を担う子どもたちに夢を育んでもらうことを目的に、賛同企業が社会科学習等を企画する「こども未来応援教室」の1つとして実施されたものです。

寒さが残る3月25日、ラグビー教室は宮城大学大和キャンパスのグラウンドで行われました。参加者は小学4～6年生の男女44人に上り、中には県北部の気仙沼市から駆け付けてくれた小学生も。経験者と未経験者に分かれ、それぞれで選手が直接コーチしました。小雪が舞う中であっても、グラウンドは参加者の熱気と笑顔にあふれ、ラグビーのおもしろさを実感してもらえたようです。

震災から6年が経過し、復興が進むにつれて被災地の状況も変化しています。当社は、特長ある製品や技術、そしてラグビーを通じて被災地の未来を見据えた支援を続けていく考えです。



<参加した小学生との記念撮影>